

## 共に学べる共生社会をめざして

兵庫県では、大学や企業、社会福祉法人、NPO法人などの様々な障害者支援団体等が連携し、障害者本人も参画する「地域連携コンソーシアム」を形成して、障害者の生涯学習支援のための課題解決に向けた取組を行っています。障害の有無にかかわらず、誰もが学べる共生社会をめざして、一緒に取り組んでみませんか。

共に学び、生きる共生社会コンファレンスや  
学びを支援する人たちのための研修会を実施しています。  
関心のある方はどなたでもご参加いただけます。  
開催情報は、[兵庫県教育委員会社会教育課HP](#)に随時掲載



『学び場検索アプリ』への  
登録にご協力ください。

随時  
募集中

ご協力いただける場合は、  
下記へご連絡ください。



学び場検索アプリの登録に  
関するお問い合わせはこちらから

「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム事務局  
(神戸大学大学院人間発達環境学研究科ヒューマン・コミュニティ創成研究センター内)  
TEL:078-803-7970

お問い合わせ

兵庫県教育委員会事務局社会教育課社会教育班  
〒658-0081 神戸市東灘区田中町5丁目3-23  
Tel 078-362-3782 Fax 078-362-3927

# 共に学べる 共生社会をめざして

vol. 05



- フレンド／神戸市: 東灘区の知的障がい本人グループ。料理教室やお祭りへの参加、新聞づくりなどを楽しんでいます。
- 神戸大学 学ぶ楽しみ発見プログラム(KUPI)／神戸市：知的障害のある青年・成人が楽しみながら「大学の知」に触れるプログラム。
- アンディオール／神戸市・西宮市: ダウン症やその他の障がいのある方のためのバレエスクール。
- はばたけ鼓心／豊岡市: 和太鼓の好きな仲間が集まり、週2回真剣に楽しく活動しています。
- NPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト／神戸市: 誰もが楽しめるユニバーサルデザインのビーチを広める活動をしています。
- NPO法人 DANCE BOX/やさしいコンテンポラリーダンスクラス／神戸市: 踊りたい人はどなたでもひとりひとりの“ダンス”を共に楽しむクラス。

## 障害のある人にとって施設をより利用しやすい環境にすることをめざして、 ミュージアム・インクルージョン・プロジェクトの実施

「なんとなく敷居が高く感じる」「騒いだりして、他の来館者の迷惑にならないかな?」「行っても楽しめないかも...」こんなふうに思ってしまい、博物館や美術館などの生涯学習に興味はあるのに一步踏み出せない学びの当事者たち。

このプロジェクトは、そんな当事者を支援するため、ミュージアム等の社会教育施設における活動を当事者の視点から見つめなおし、改善を加えることで施設を利用しやすい環境にすることを目的としています。

## プロジェクト実施の3STEP

01

障害のある人が調査隊\*として博物館等を訪問し、体験や見学を実施

02

展示等について、「こうすればもっと楽しめる」という意見を博物館等と協議

03

意見を基に、博物館等はより利用しやすい施設をめざして可能な改善を実施

\*調査隊・・・自分たちの学びの場を整えようとする知的障害、視覚障害、聴覚障害、精神・身体障害のある方々

## REPORT ミュージアム・インクルージョン・プロジェクト交流会を実施

本プロジェクト実施施設、兵庫県内の博物館関係者による交流会を実施し、障害のある人が安心して体験できるプログラムやさわることができる展示、緊急時の情報保障等について情報交換をしました。

## 参加者の声

- ・インクルーシブにむけた機運が高まり、専門の部署を設置して改善策を検討している。
- ・来館者と関わる職員一人ひとりが丁寧な対応を心がけることが大切。
- ・意見交換することで、自分たちがやってきたことが間違いでないことがわかった。
- ・他の施設の具体的な取組や課題がわからなかった。  
よいヒントを得られたので、できそうな改善に取り組んでいきたい。
- ・博物館だけでは対応にも限界がある。他部署や外部組織と連携を図っていく必要がある。

## PICK UP 伊丹市昆虫館の取組

館独自の取組として、知的・身体・聴覚・視覚障害者団体の意見を受けながら、ユニバーサルな展示（音声・さわることができる展示物）に加えて、周知方法の改善など、より利用しやすい施設へと整備中。また、伊丹市立障害者デイサービスセンターに生きている昆虫（カブトムシやチョウの幼虫・さなぎ、ナナフシ）を連れて行き、学芸員の解説とともに、昆虫を利用者の腕や足に乗せて歩かせるなど、楽しくふれあうことができる体験を提供しています。



「学びたい」  
当事者の思いを形に。

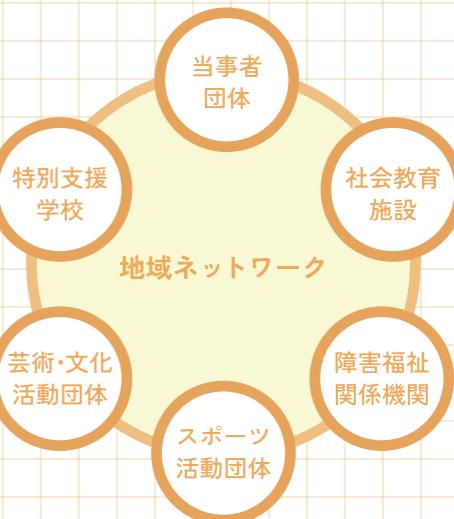
# 兵庫県が実施する、 2つの取組

障害の有無にかかわらず、誰もが学び続けられる社会をめざす兵庫県。今回は障害のある人を対象とした、博物館等の社会教育施設を活用した生涯学習支援の取組を紹介します。

## 広域の兵庫県において、その地域のニーズにあった支援のため、 障害者生涯学習推進のための 地域ネットワークを構築

## 地域ネットワークの役割は?

兵庫県内の各地域において、障害のある人の学び場づくりに関わる組織（行政や関係団体）がネットワークをつくり、それぞれの取組の価値を高め合うとともに、障害のある人のニーズに応じた新たな取組を協働して実施します。



## REPORT 三田地域の取組 障害者の生涯学習推進をめぐる懇話会

障害のある人の学び場づくりに関わる関係者が集まり、それぞれの取組や課題について情報共有。また、障害のある方の学びの支援を高めるために互いにどのような連携を望んでいるかについて意見交換しました。

参考  
県立人と自然の博物館／三田市手をつなぐ育成会／三田市障害福祉課／三田市文化スポーツ課／三田市社会福祉協議会／三田市障害者総合相談窓口きいてネット／大学教授（特別支援教育・元特別支援学校長）



## 参加者の声

## 障害のある人の生涯学習の場の充実

- ・在学中の社会教育施設での体験が、卒業後の生涯学習に活かされる。
- ・障害のある人の特性を理解し、展示方法の工夫に努めてほしい。
- ・本人たちがどのような展示に興味を示すのかを実際に見ていただき、改善を重ねていただきたい。

## 障害のある人への支援

- ・同年代の人とのつながりを求めている。ごみ拾いボランティアなどは、共通の目的をもって活動することができるので、障害の有無にかかわらず、新しいつながりができる。
- ・障害に対する理解を促進するため、地域イベントへの参加者の拡大を図る。
- ・地域での居場所の情報が必要な人に届いていない。情報の伝達方法に課題がある。

## 今後の展望

- ・人と自然の博物館として、三田市手をつなぐ育成会などと連携し、来館者への挨拶・受付補助などの博物館活動において、障害のある人の社会参画の機会を創出できるか検討する。
- ・身体障害者社会学級（青い鳥学級）のプログラムでの、人と自然の博物館への来館利用を検討する。

## 身体障害者社会学級

教養や実践的な知識・技能等を習得するとともに交流の機会を通して、相互理解を深め、生きる喜びを創造する場を提供することを目的に県内6地域（阪神、東播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路）で実施しています。

さらに、各学級にはコーディネータを配置。学級生の多様な意見を柔軟に調整し、連携団体の協力を得ながら学習者の主体的な学びの支援体制の充実にむけた方策の検討を行います。

### 学級一覧

- ・青い鳥学級（視覚障害者：8学級）
- ・くすの木学級（聴覚・言語障害者：7学級）
- ・たけのこ学級（筋ジストロフィー症者等：1学級）

### 学級生の声

体験活動や交流会に参加することで、これまで知らなかったことをたくさん知ることができます！

### 特徴的な取組例

- ・電子書籍を活用したICT講座
- ・人と防災未来センター見学
- ・他地域の青い鳥学級との交流

「学校卒業後も  
学びたい！」

という当事者に向けて。

例えば、

# こんな学び場があります。

自分のやりたいが見つかる！知らなかつた自分に出会える！県内のプログラムや施設をピックアップしました。

## 神戸大学学ぶ楽しみ発見プログラム（KUPI）

KUPIは、知的障害のある青年・成人を対象とした神戸大学の履修証明プログラムです。対話的環境の中で大学の知の世界に親しみ、仲間や一般学生と共に学ぶ機会を得られます。

### REPORT

6年目のKUPIは、12名の仲間たちが10月から2月までの間、月曜日・火曜日・木曜日の夜に神戸大学のキャンパスに集まり、一般の学生と学び合いながら授業を受けました。

### KUPI学生の声

- ・KUPIでSDGsをしました。「住み続けられるまちづくり」のテーマで調べました。SDGs発表会（公開授業）で劇をしました。2050年の都会「三宮」と2050年の田舎「姫路」の劇をしました。これからの未来について伝えることができました。
- ・「KUPI生が授業をする」がむずかしかったけど、他の人の発表もきけておもしろかった。図書館ではいろいろな本をみてよかったです。
- ・仕事のあとにくるのはたしかにしんどかったけど、KUPIに来ると楽しかったのもある。授業とKUPIのみんないい友だちでなんでも話せる友だちだからだと思う。



### PICK UP

#### 「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰

障害者が生涯を通じて教育やスポーツ、文化などの様々な機会に親しみ、豊かな人生を送ることができるよう、障害者の生涯を通じた多様な学習を支える活動を行う個人又は団体について、その功労・功績をたたえ表彰されます。

## 受賞団体の取組

### 楽しみながら社会性を育むチャンゴ教室（韓国伝統打楽器演奏サークル）

小学生から30歳代までの軽度から重度の知的障害及び聴覚障害者とその家族によるチャンゴ教室（韓国伝統打楽器演奏サークル）。演奏に加えて講演の依頼もあり、チャンゴを通して障害者の啓発活動を行っています。



### 豊岡市くすの木学校運営委員会

身体・知的障害者等が、社会人として幅広い教養や実用的な知識・技能等を習得するとともに、広く市民との交流の場を通して相互理解を深め、ともに生きる喜びを創造する場を提供しています。



## 「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」 (近畿ブロック) を実施しました。

学び場づくりに関する好事例の共有、障害者の生涯学習活動に関する研究協議等を通じて、障害理解の促進や支援者同士の学び合いによる学びの場の担い手の育成等、障害者の学びの場の充実をめざして開催しました。

### △ここがポイント△

- ・当事者と支援者による実践発表と、それぞれの視点を交えた協議
- ・学びの当事者が運営に参加し、当事者と支援者が一体となって実施

### 当日の様子

#### KUPI学生による受付



#### 講演

国立民族学博物館  
信田 敏宏さん



#### 支援団体の実践発表



「NPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト」

#### 当事者による実践発表



### 会場における協議の様子

in 神戸大学鶴甲第2キャンパス



### △ 参加者の声 △

- ・自分の子どもが何に興味があるのかに気づいていなかった。経験を重ねることで、子どもは大きく成長すると感じたので、いろいろなことにチャレンジさせたい。
- ・須磨ユニバーサルビーチプロジェクトでは、障害のある人が海に入るだけでなく、それをきっかけに様々な人とのつながりが生まれている。インクルーシブな社会を考える上で大事な視点であった。
- ・当事者や自分とは違う立場の支援者と有意義な意見交流ができた。
- ・学校在学中に多様な学びの場の情報を知ることができたら、生活がより豊かになると感じた。

新しい学びとの  
出会いに。

# 学び場検索アプリを ご活用ください。

略してまなpri

「家の近くにどんな学びの場所があるのかな?」「ネットの情報だけでは分かりにくいなあ」「学校を卒業すると、学びに関する情報が入手しにくいのかな?」etc... 学校以外でもいろいろな学びに挑戦したいと感じている学びの当事者や、その支援者にぴったりのツールです。

## ● どんなことができるの?

主に県内の学びの場を自分にあった条件で簡単に検索できます。動画や字幕を使って、活動を紹介している団体もあります。

- こんな情報を掲載しています／  
・団体名 ・参加形態 ・障害種別  
・活動内容 ・特徴 ・連絡先等

アクセスは  
こちらから



▲ 詳細ページ



▲ 一覧ページ



学びの当事者が出演する、「まなpri」紹介動画も!

この動画みて、「何かやってみたい!」と思ったら、ぜひこのアプリで探してみてください。たくさんの学び場を紹介しています。



## 登録団体紹介

### さんだくろす（三田市）

知的障害・自閉症などの人とその家族、伴走ボランティアが一緒に走る楽しさや喜びを分かち合えるランニングチーム。サポートのスキルアップ（ランニングや発達障害についての学習）や当事者家族同士での悩み相談などもしています。



#### 参加者家族・支援者の声

- 子どもが重度の知的障がいがあるため皆と一緒に走れるか親として不安でしたが、親身になってサポートしていただき、今ではランニングの大会などにも楽しく参加できています。
- サポート会員として参加しています。最初は障がい者とどのように接すればよいのか分からず戸惑いましたが、ランニングは誰でもできる運動なので、今では一緒に走ることを楽しんでいます。



## REPORT

当事者の思いに寄り添った支援を。

学びを支援する人たちのための研修会を実施しました。

当事者の思いに寄り添った支援者を育成するため、支援経験の浅い方を対象に、障害者の生涯学習に関わる基礎的な事柄についての講義と、日々支援に関わる中での悩みなどを共有することで、支援者相互のネットワークづくりの場としています。



- インクルーシブについて学びを深めることができた。  
● 当事者の視点に立った支援の大切さを感じた。  
● 当事者や行政関係者、障害福祉サービス事業所など、立場の異なる参加者との意見交流が学びになった。  
● 研修会を通じて、学校卒業後、学びの場についての情報を入手しにくくなるため、学び場検索アプリは、余暇時間を楽しむためのきっかけになると感じた。

#### 参加者の声



劇場は社会や世界につながる扉。  
障害がある人もない人も、  
皆さん、いつでもウェルカム！

## PICK UP

### NPO 法人 DANCE BOX

神戸・新長田の劇場 <ArtTheater dB KOBE>を拠点に、車椅子の利用者や、ろう者、視覚障害者、知的・精神に障害がある人も、様々な芸術表現を楽しみ、体験・鑑賞できるプログラムを多数実施しています。障害者パフォーマーを含むプロフェッショナルなダンスカンパニー Mi-Mi-Bi(みみび)もここを拠点に活動中！特別支援学校等への出張ダンスワークショップを行っています。



photo by igaki photo studio  
画像提供：豊岡演劇祭実行委員会